

運 営 推 進 会 議 開 催 結 果

開催日時 令和 4 年 5月 27日 (金) 14時～ 15時00分

利用者	1名	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から予定しておりました運営推進会議の開催を中止とし、職員のみで実施し書面開催といたしました。
利用者家族	0名	
地域住民の代表者	1名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	4名	

・次回開催日 R4年7月22日(金) p m2 : 00～

会 議 録

◇R4年4月・5月におこなった活動報告

- *4月1日(金) 車窓から花見。
- *4月2日(土) : 悠遊荘との交流。男性が2名きて皆さんとトランプ、坊主めくりをする。
初めは恥ずかしそうにしていたが、すぐに打ち解け、楽しく遊んでいました。
- *4月4日(月) Kさん歯科受診。
- *4月5日(火) Nさん、もりやま心療内科受診。
- *4月6日(水) 理美容。
皆さん、夏が来るので短く綺麗に、さっぱりと、されていました。
- *4月6日(水) 午後から、モリコロパークへ行く。
桜も綺麗に咲いていたが花桃がとても綺麗に咲いていたので
綺麗だねーと感動していました。
- *4月14日(木) 訪問歯科
3名の方が診療して頂いております。
- *4月18日(月) 往診日
皆さん異常なく元気との事でした。
- *4月18日(月) Mさん誕生日会
利用者様にプレゼントを渡していただき、一言ずつお祝いの言葉を
かけてもらいケーキでお祝いをしました。
- *4月25日(月) Nさん、もりやま心療内科受診。
- *4月30日(土) Mさん歯科受診
- *5月5日(木) 端午の節句
皆さんで鯉のぼりの塗り絵を飾り、午後からは鯉のぼりの歌、背くらべなど歌い
おやつに柏もちを頂きました。
- *5月6日(金) Mさん歯科受診
- *5月7日(土) Nさん陶生受診
鬱病、脱水症状で、入院になりました。
- *5月8日(日) 母の日
母になった日など一人ずつ話してもらい、記念撮影をしてケーキを頂きました。
- *5月12日(木) 職員会議
モニタリングの後、「身体拘束適正化」3つの弊害についてを皆で勉強しました。

*5月13日(金) 避難訓練

手作りおやつを焼いている時オーブントースターから出火の想定

居室で休まれている利用者様以外無事に避難することが出来ました。(2分32秒)

*5月19日(木) 訪問歯科

*5月23日(月) 往診

*5月27日(金) 運営推進会議書面開催

当日の職員で開催しました。

◇ 事故報告

4/3

事 NO様 ・・額が腫れているのを日勤者が見つけ夜勤者に確認するが覚えがないと言う

・・額を熱さまシートで様子をみた。その後腫れもひき痛みも徐々に消えていきました。

対処方 夜はポータブルトイレ使用、センサーが鳴ったらすぐに駆け付け見守り徹底。

4/18

事 NK様 ・・オランザピン錠が一錠おちていた。

・・朝食後の薬でしたのですぐに服用して頂く。

対処方 完全に服用するまで確認する。

4/23

事 OE様 ・・ベットと壁の隙間に顔と足が挟まれ左頬と太ももに擦り傷ができた。

・・訪看さんに連絡して対処方を聞きプロペドで処置をする。

対処方 休んで頂くときベットの隙間も確認する。

◇身体拘束等の適正化について

「身体拘束3つの弊害について」を話し合いました。

別紙あります。

❖ 身体拘束適正委員会

◆ 身体拘束に向けてなすべきこと

○ 身体拘束廃止のための3つの弊害について

- ① 身体的弊害
 - ② 精神的弊害
 - ③ 社会的弊害

① 身体的弊害

- ❖ 身体拘束により、身体的な弊害もたらされる。これは、身体拘束をすることで、
高齢者の関節が拘縮してしまう、拘束する事で動けない状態となり、筋力が低下して
しまうなど、身体機能の低下や、拘束している部分が圧迫されて褥瘡が発生してしまう
可能性があります。
- ❖ 身体機能の低下や褥瘡の発生などの、外的な弊害のみならず、拘束されている事で
食欲低下・心肺機能の低下・免疫力の低下などの内的な弊害がもたらされる可能性もある。
又、無理に動こうとしたことで、転倒・転落・拘束道具による窒息などの重大事故にも
繋がります。

② 精神的弊害

- ❖ 身体拘束をすることで、本人や高齢者に、不安や怒り、屈辱、諦め等の精神的苦痛、
さらに、人間としての、尊厳をも侵してしまう。又、身体拘束により認知症が悪化して
せん妄など併発させる可能性もあります。
身体拘束は、本人に与える精神的苦痛だけでなく、家族にも多大な精神的苦痛を
もたらし、親や配偶者が拘束されている姿を見て、混乱や後悔、罪悪感を与えてしまう。

③ 社会的弊害

- ❖ 身体拘束による身体的弊害や精神的弊害は、施設などに対する不信感や、偏見を
もたらし、恐れがあります。身体拘束によって、本人の心身機能が、著しく低下
した場合、QOLの低下を招くだけでなく医療的処置が必要となり、家族への経済的負担
にも影響が、もたらされるようになる。

：3つの弊害を学んだが実行する事が一番大事な事です。

虐待・身体拘束の研修資料 参照しました。

グループホームほっと